

# 令和元年度定期総会を開催

5月19日(日)榛原農林会館2階大会議室において、午後7時から定期総会が開催されました。

総会には、代議員64名(委任状提出者含む)が出席、ご来賓に市長高見省次さん、地元市議会議員多田さん、市財政企画部長鴻池さん、まちづくり支援課課長山口さん他担当職員方々、西小学校校長荒川先生のご出席をいただきました。

はじめに、まち協会会長高見喬宏より挨拶では、「大王地域に住む人達が、より住みやすい、優しい地域を目指して前面に出してやってまいりました。」と話され、その後、来賓の高見市長、多田議員のご祝辞のお言葉をいただいた後、次世代部

**一人と人・人と地域が  
つながる「まちづくり」を目指して**

会長 高見 喬宏

令和元年度の総会も皆様のお力添えで、終わることができましたこと感謝申し上げます。

これで、令和元年度へと駒を進める事ができました。4年間に手探りで取り組んできた結果、5部会とも何とか独立した活動が出来るようになり、まちづくり協議会の目的にそって取組みを進めています。

子どもさんを対象に木工教室の実施、大王地区の名所・旧跡マップの作成・案内板の設置、米ぬかを使った新商品の開発、井足岳登山道コースの整備、地域じまん祭の実施、年3回の広報紙発行等、まだまだ区民のすべての皆様に満足していただける内容には至ってはいませんが、自分たちが出来ることを精一杯することにより、「まちづくり」へと繋がるものと信じて歩み続けています。

「まちづくり」とは、時代が変わっても、そこに暮らす人たちが繋がり地域を育てていくことが原点だと私は思います。

区民の皆様、今年度もよろしくお祈りします。



発行/編集  
大王地区まちづくり協議会 広報部  
宇陀市榛原下井足  
825番地  
(農林会館内2F)



会員の池田孝志さんが指名により議長として選出され、議事に入りました。

高見会長より①平成30年度事業活動報告、森本会計より②一般会計及び特別会計の収支決算報告と吉岡監事から監査報告③令和元年度の代議員・役員・各部会委員案について説明がありました。続いて、高見会長より④令和元年度の事業計画案



↑ 高見市長のご祝辞



↑ 池田議長議案進行様子

とそれに伴う⑤一般会計収支予算案を森本会計より説明がありました。5つの議案について代議員の皆様にご審議をいただき、すべて議案をご承認していただきました。

5年目に入り協議会の活動は、昨年度より継続



↑ ご来賓の皆様



令和元年度 大王地区まちづくり協議会  
事業計画書

科目	実施時期(予定日)	事業名	事業概要
会議	5月19日 定例会 隔月	大王地区まちづくり協議会総会 役員会・部会	事業計画・収支予算・役員(案)、審議及び採決 役員会…隔月部会…毎月
広報部会	7月1日 10月1日	広報の発行	全戸配布
健康・福祉部会	6月30日	認知症予防セミナーの実施	高齢者対象
教育・文化部会	6月より	大王地区名所マップを使ってのウオーク(体協とタイアップ) 木工教室	パンフレット・マップ全戸配布・市関係とに配置しPRに努める。 マップを使ってウオーク大会を実施 西小学校生対象
次世代(わかもの)部会	8月より	イベント販売 商品開発 市内での生産	県内外のイベントでの販売 市内での生産場所に変更し、 自力生産を目指す。
次世代(わかもの)部会、教育・文化部会	10月13日	大王地区体育祭	バザーの実施
井足岳開発部会	6月より	井足岳登山コースの整備	登山マップ作成 昨年に引き続き標識の設置 山頂の展望台整備
全部会	11月17日	第5回文化祭わか地域「じまん祭」	大王地区住民の作品の展示 (農産物販売・コンサート)
会議	3月	代議員会	まとめ

令和元年度 一般会計収支予算書

令和元年5月19日

収入の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較(増減)	備考
繰越金	54,935	36,415	18,520	前年度繰越金
補助金	679,000	578,000	101,000	市補助金基本分
雑収入	16,065	15,585	480	バザー収益金、貯金利息等
計	750,000	630,000	120,000	

支出の部

(単位:円)

項目	本年度予算額	前年度予算額	比較(増減)	備考
会議費	40,000	40,000	0	総会・各部会賄い
事務費	50,000	50,000	0	OAインク代、事務用品代
印刷製本費	40,000	40,000	0	まち協広報紙印刷代他
活動費	400,000	360,000	40,000	体育祭バザー材料代 子供の育成のほり代 体育協賛景品代 ミニ文化祭イベント謝礼代 ミニ文化祭作品展参加費代 農産物加工及び材料代 セミナー(講師料)年4回
備品購入費	200,000	100,000	100,000	事務機器等
予備費	20,000	40,000	△20,000	
計	750,000	630,000	120,000	

大王地区まちづくり協議会 役員名

◆規約第7条第6項に規定する委員

◆規約第8条に規定する委員

◆まちづくり協議会 部会名簿

【環境・安全防災部会】

【総務】

【役員】

役職名	氏名	備考
委員	高見 喬宏	自治会長・協議会会長
委員	皆見 義徳	自治会長・協議会副会長
委員	村井 利一	アドバイザー
委員	中垣 俊一	自治会長
委員	生駒 登	自治会長
委員	松浦 達男	自治会長
委員	西岡 正	自治会長
委員	佐山 利生	自治会長
委員	池田 孝一	自治会長
委員	福辻 実	自治会長
委員	辻 増夫	自治会長
委員	相原 晚穂	自治会長
委員	森本 文男	協議会会計・部会長
委員	吉岡 伸泰	協議会会計補佐
委員	山口 隆次	部会長
委員	矢谷 良治	部会長
委員	森田 泰子	部会長
委員	藤田 茂樹	部会長
委員	森本 彰一	部会長
委員	大塚美代子	書記

役職名	氏名	備考
会長	高見 喬宏	
副会長	皆見 義徳	
事務局	大塚美代子	
会計	森本 文男	
会計補佐	吉岡 伸泰	
アドバイザー	村井 利一	
理事	森田 泰子	
理事	山口 隆次	
監事	池田 祐介	
監事	和田 邦夫	
顧問	多田與四朗	

役職名	氏名	備考
部会長	森本 文男	
副部会長	村井 利一	
部員	吉田 徹	書記
部員	吉岡 伸泰	
部員	谷本 善則	
部員	新谷 正澄	
部員	辻 増夫	
部員	植平 秀次	
部員	西浦 克博	
部員	本田 克己	
部員	西谷 栄治	
部員	藤田 貢	
部員	多田 政弘	
部員	田中 基晶	
部員	松浦 俊員	
部員	山本 富男	
部員	大西 正和	
部員	山田新二郎	
部員	室 徳司	
部員	前野 靖	

◆まちづくり協議会 部会名簿

【広報部会】

役職名	氏名	備考
部会長	山口 隆次	
副部会長	南 武仁	
部員	大塚美代子	
部員	室 典良	



◆まちづくり協議会 部会名簿

【健康・福祉部会】

【教育・文化部会部会】

【次世代(わかもの)部会】

役職名	氏名	備考
部会長	矢谷 良治	
副部会長	中井 雅文	
部員	三尾 勇	書記
部員	西窪佐和子	書記
部員	和田 邦夫	
部員	多田 善英	
部員	楚坂 武雄	
部員	多田 良一	
部員	山岡 通浩	
部員	栗野 肇	
部員	河辻 弘宣	
部員	中谷 正則	
部員	堤 正明	
部員	小林 達男	
部員	皆見 義徳	
部員	松浦 達男	
部員	高奥 操一	
部員	菅原 啓三	
部員	福辻 実	
部員	池田 和代	
部員	井口 滋	
部員	尾上 雄三	

役職名	氏名	備考
部会長	森田 泰子	
副部会長	桶谷 輝男	
部員	徳田 芳樹	
部員	的場 功	
部員	西岡 一博	
部員	穴瀬 芳廣	
部員	相原 晩穂	
部員	松元 温史	
部員	池田 祐介	
部員	植平英美子	
部員	生駒 登	
部員	新谷 繁蔵	
部員	田中 正富	
部員	上垣 龍一	
部員	西田 一男	
部員	佐山 利生	
部員	中垣 俊一	
部員	池田 孝一	

役職名	氏名	備考
部会長	藤田 茂樹	
副部会長	新谷 真生	
部員	池田 孝志	
部員	大塚 成人	
部員	吉村 祥吾	
部員	馬場尾隆広	
部員	藤岸 猛	
部員	的場 浩司	

【井足岳登山道開発部会】  
(令和元年～2年)

役職名	氏名	備考
部会長	尾崎 正行	
部員	西田 一男	
部員	新谷 繁蔵	
部員	森本 文男	
部員	村井 利一	
部員	吉岡 伸泰	
部員	田中 基晶	
部員	松浦 俊員	
部員	山口 隆次	
部員	多田 善英	
部員	高見 喬宏	



井足岳登山道の整備のきっかけは、竹内前市長のトレッキングの話から井足山の景色がよいので、登山コース整備を大王まち協で整備を行ってはその提案があり、総務委員会での協議の結果、関係者等の賛同を得て各部会の有志が集まり、平成29年度から取組みが始まりました。

登山の紹介本によりますと、伊那佐山から井足岳間は、倒木が多くまた、ルート表示が無いので一般の登山には向いていないと書いてありました。

平成30年度において、道に迷いながらの登山整備でしたが、有志みんなの協力もあり、コース案内の仮設置板設置や展望確保のための伐採、倒木処理、危険箇所のロープ張り、草刈り等の作業が終わりました。

また、令和元年度・2年度において引き続き道標・案内板設置等の作業を行う予定です。

コースは、市役所を出発し、宇太水分神社↓農道(榛生昇陽高校G南側)↓水分神社雨乞い地↓井足岳(550m)↓伊那佐山を経て比布バス停までの行程で約3時間の山行となります。

林間の涼しいコースとなっていますので、ぜひ歩いてみてください。

井足岳への登山道整備が完成

井足岳登山道開発部会長 尾崎 正行



